

発行所 社会福祉法人 正心会

老人福祉施設 さぎそう園

〒666-0152 川西市丸山台3丁目5番地の6  
TEL/072-794-7600 FAX/072-794-7573

総合福祉施設 ハピネス川西

〒666-0025 川西市加茂3丁目13番26号  
TEL/072-755-1313 FAX/072-755-1314

**平成26年5月**  
**第46号**

# 正心会 みちのり

今年も、施設の周りは桜でいっぱい。ちょっと「気分転換」と皆様と一緒にあ出かけしました。本当に清々しい気持ちになり、笑顔が絶えませんでした。『春バンザイ！』



仲間のいろいろなエピソードを聞いていますと、自分自身の不甲斐なさに気づかされ、後悔がよぎる時もありますが、また楽しからずやです。一方では人ととのつながりが如何に大切かを痛切に感じさせてくれます。まだまだ心身共に老いるつもりはありませんが、「とある時期の会」を大切にしたいと思っています。

昭和25年寅年生まれ

昔から仲間は届託のない思い出話から入りますからスッと輪に溶け込みます。さすがに男女を問わず色気は劣化していることは否めませんが、その代わり経験に裏打ちされた人生の蘊蓄（うんちく）が関西弁で聞けます。テレビの下手なサスペンスものよりも起伏に富み「事実は小説より奇なり」を実感できます。

最近、同窓会という名を借りて「懐かしくて寂しいから集まれる会」の案内が多く届くようになりました。できる限り参加しています。学校の同窓会のように「何年何組」と型に嵌つている団体は召集も簡単で集まり易いのですが、どこからどこまでと区切れない団体は「とある時期の会」と命名して出来るだけ集まり易いように工夫がなされています。

常任理事 山本 孝夫  

 最近、同窓会という名を借りて「懐かしくて寂しいから集まれる会」の案内が多く届くようになりました。できる限り参加しています。学校の同窓会のように「何年何組」と型に嵌つている団体は召集も簡単で集まり易いのですが、どこからどこまでと区切れない団体は「とある時期の会」と命名して出来るだけ集まり易いように工夫がなされています。

まだ青春かな



# ボランティア紹介



さぎそう園

**「ひまわり」**

代表：酒井 孝子様



「ああ、またあの人の笑顔が見れる。」「もっと、楽しんでもらう為にはどうしたらいいかなあ。」と、こちらもやりがいを感じながら活動させてもらっています。



約25名ぐらいの人数でこの北陵地区を中心に様々なボランティア活動をさせていただいている。その中でも特に、このさぎそう園での「喫茶」は我々もすごく楽しみにしているボランティア活動の一つです。「おいしいコーヒーやったで！」「また、来てね。待ってるよ！」等ちょっとした言葉にとても元気をいただいている。



さぎそう園

**「レクリエーション手伝い・入浴後の整容」**

坂部 美智子様



子供が中学生の時、初めて「トライヤル・ウィーク」で「さぎそう園」にあ世話になったのがきっかけで、子供と同じ話題を持てたらいなあと思い、私も福祉のお手伝いをしようと始めました。月に数回しか来れませんので、なかなか全員の方と接することはできませんが、「ありがとう！」の言葉が聞きたくて10年以上も続いています。



**ハピネス川西****「きらく座」**

代表：田中 光子様

“気楽にいこう”という思いを込めて名付けられた「きらく座」は、総勢10名程の歌と踊り好きが集まったボランティア団体です。結成して10年以上経ちますが、初めは習う側だったメンバーの皆様も、現在は自分達だけでなく多くの人に歌や踊りの楽しさを伝えていこうと、各人でもさらに活動の幅を広げておられます。演目終了後の握手会は『また会いましょう』との意味が込められており、「見て下さった方々の笑顔や言葉で自分たちも元気になれる」と仰っておられました。ご利用者の皆様も「また来てほしい」と楽しみにされています。



先日行われた公演の様子

**ハピネス川西****「車椅子レクダンス普及会」**

宝塚支部長 今井 豊彦様



輪になっての車いすレクダンス

「車椅子の方とも一緒に楽しく踊れるようこの活動を広げていきたい」と、今後も新たな支部創設に意欲を見せる今井宝塚支部長。すでに全国展開を見せる普及会ですが、支部総数は約400に上り、そのメンバーはおよそ8000人。施設訪問では輪になって車椅子ダンスを踊るレクリエーションダンスが中心ですが、それ以外にもタンゴ・フルツなど



様々な種目があり、一般の方々を交えたイベント開催など各地で精力的に活動されています。懐かしい曲に合わせて輪になり一緒にダンスをするだけで、みな笑顔になり本当に楽しいひと時です。



宝塚で開催されたパーティーの様子。  
写真一番手前が今井豊彦様

こんにちは  
障がい者  
デイサービスです

## 「NHK歳末たすけあい義援金」で 新しく洗面台を設置しました

デイサービスフロア内に設置している洗面台は、これまで水のみでご利用者の皆様にはご不便をおかけすることがありました。このたび「NHK歳末たすけあい義援金」の分配をうけ、フロア内に温水器付の洗面台を設置することができました。これからは、寒い冬もご利用の皆様に快適に過ごしていただけます。

この場をおかりいたしまして、お礼申し上げます。



## ボランティアさんを募集しています

例えば、ウルトラマンが好きなご利用者と一緒に本を見ながらお話をすることで、たくさん笑って喜んでくださいます。



麻雀では誰かがあがると拍手喝采、大盛り上がりです。



主な活動内容は、デイサービスのご利用の方と、カラオケ・麻雀・オセロ・ボードゲームなどをしたり、趣味の本や新聞を一緒に読んだりして、ご利用者の皆様とたのしい時間を一緒に過ごしていただくボランティアです。資格・経験は不問です。時間・曜日等もご相談させて頂きます。

まずは、見学からでも結構ですのでお気軽にお問い合わせください。

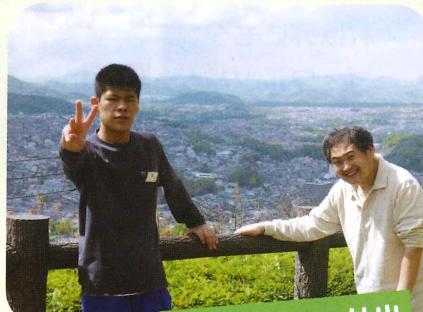
障がい者デイサービス ボランティア担当 野中 ☎072-755-3321

こんにちは  
作業所です

GW中は取引先がお休みでしたが、いろいろな活動をしました。



地域の公園をきれいに



五月山公園へ外出



施設の周りをみんなでゴミ拾い

平成26年度新入職員が、さぎそう園に1名・ハピネス川西に5名、新たに加わりました。

## 新卒新人職員紹介



さぎそう園／特養／介護職  
(なかの なつみ)  
中野 撥海



ハピネス川西／特養／介護職  
(まえなか なおみ)  
前中 直美



ハピネス川西／特養／介護職  
(いけうち りな)  
池内 理奈



ハピネス川西／特養／介護職  
(なかやま かずや)  
中山 和也



ハピネス川西／特養／介護職  
(いまだ こうhei)  
今谷 幸貴



ハピネス川西／特養／介護職  
(もとやま なおき)  
本山 直樹

1日でも早く仕事を覚え、  
ご利用者の皆様の力になれるよう頑張ります！  
皆様よろしくお願ひ致します。



ネットトヨタ神戸株式会社様より  
車椅子を寄贈いただきました

さぎそう園・ハピネス川西で、計4台の車椅子を頂戴致しました。

この場をおかりし、あ礼申しあげます。誠にありがとうございました。

## ハピネス川西ケアハウス

### 入居希望者受付中



自立した健康で豊かな生活をスタッフ一同心をこめてお手伝いさせて頂きます。

【対象】

- 60歳以上の方
- 自炊が困難など一人で生活するのに不安がある方  
(ご夫婦の場合はどうちらかが60歳未満でも可)

※見学・入居申込みは随時承っております。  
お気軽にお電話下さい。

●お問い合わせ● ハピネス川西ケアハウス  
TEL 072-755-3317

サイパンの南約5キロに位置するテニアン島。結婚後、戦争による引き揚げ時まで南洋諸島で生活していたという西野さんに若かりし頃の貴重な体験をお聞きしました。

テニアン島に移り住んだのは結婚してからですね。当時私が18歳で主人が30歳くらいだったかな。主人は材木屋を営んでいてテニアン島の市街地建設などを請け負う為に出向くことになり、大工さん数名と一緒に移り住みました。私の住んでいた地区は海も近く本当に綺麗な南国の風景が広がっていましたが、海を眺めながら「あの向こうに日本がある」「自分の家族がいる」と思うと、切なくて涙がこぼれて仕方なかつた。



7人兄妹と一緒に。写真中央が西野様

お部屋に写真があるけど、主人は人はを包み込むような人柄の優しい青年で、商業組合の組合長や警防団長なんかを務めていたと記憶しています。あそこではいろいろ経験したけれど不思議と辛いとか嫌だとは思わなかったかな。

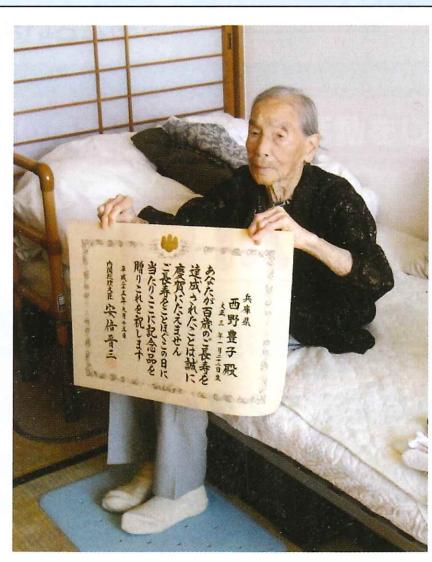
「なんだか恥ずかしいね」と照れながら色々なお話を聞かせてくださった西野さんはなんと100歳。今は毎食前の一時間の読経が日課だそうで、この習慣がついてからは食事の際に、食べ物がのどを通りやすくなつたそうです。それが長寿の秘訣なのかもしれません。



ハピネス川西ノケアハウス  
西野 豊子様

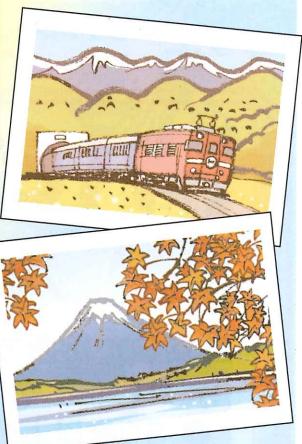
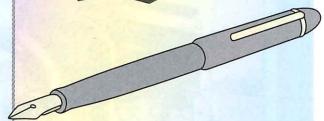
幼少期から学校を卒業するまで平凡な毎日を徳島県の松茂村（現在の松茂町）で過ごし、結婚と同時に突然日本を離れたので、ほんの子供だった私にはそれほどの決意も無かった。

しばらくそこで生活に奮闘していましたが子供を3人授かり心にも余裕が出来てきました。そんな時、第二次世界大戦がはじまり、敗戦間近の昭和19年3月に政府から婦女子に対して強制引き揚げの命令が下りました。私は子供を連れて姉のいる鳴門市に戻りましたが、主人はその地に残りほとんど軍人と同様な生活を送っていたと思います。後になり主人とはそれが今生の別れなのだったと悟りました。悲しんではかりはいられず、徳島県に戻ってからは姉が経営していたホテルの仕事を手伝いながら、なんとか子供を育てて毎日精一杯でしたが、皆立派に巣立ってくれました。



百歳時の表彰状授与式

## 私の見聞録

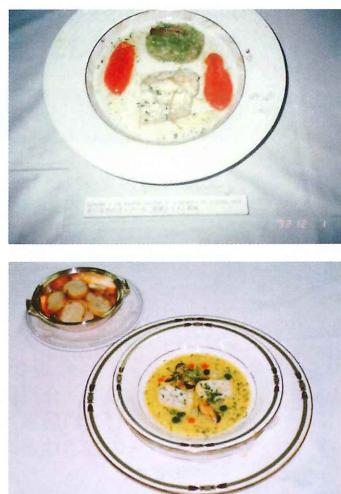


昨日煩雑な事務手続きや、顧客管理には欠かすことのできないのがコンピューターの使用です。ご存じの通りコンピューターの性質上、大量の情報を一瞬に処理できたり、同じ情報を共有したり、いつでも誰でも容易に操作できる反面、その管理能力が常に求められています。一旦流出してしまえばその情報を取り消すことや、こちらの操作で抑止できるようなことはできません。また、コンピューターだけでなく人と人との会話の中でも常に注意が必要です。この「個人情報保護法」のうわべだけの知識だけではなく、いろいろな場面に対応できる知識を得る為、今後も引き続き学んでいこうと思います。

平成26年2月に、外部講師を招いて「個人情報保護研修会」をそれぞれの施設で行いました。

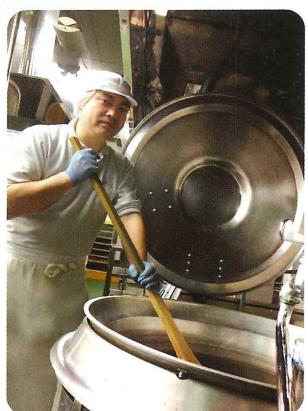


## 個人情報保護研修会開催



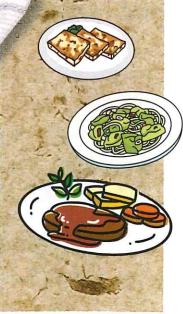
当時実際に作られたフランス料理

「こんな料理つくれたらかっこいいな・・・」ふとそんなことを思つたのが中学2年のころだったように思います。一流のレストランや料亭を紹介するほんの数分の番組を見た時のことです。その中でも真っ白な皿の上に描かれた絵のようなフランス料理に心惹かれました。それからしばらくして、進路相談の時、先生に「高校には行かない、料理学校に行く」と言つっていました。慌てた親や周囲の反対もあり、とりあえず高校に行くことに・・・。その後料理学校に入学しました。それから2年の勉強の後、就職。ホテルにするかフレンチの店にするか悩み、結局神戸のホテルに決めました。



ハピネス川西／栄養課  
やまぐち てるお 照夫さん

**人財发掘**



今まで作ってきた料理のメニュー、イラスト付き手書きレシピをきちんと保管されています。



最初の1年ぐらいは洗い物や料理の下準備のような雑用に明け暮れる日々でした。中には理不尽な先輩もいて、突然後ろから蹴飛ばされたり、熱いままのフライパンや鍋を洗い物している最中に投げ入れられたこともあります。料理の世界に入ったことを後悔することもしばしばありました。それでも1年2年と頑張り、初めて自分の作った料理がお客様の前に運ばれていつた時はすごくうれしかったのを覚えています。それから数年がむしゃらに頑張つていましたが、突然阪神淡路大震災が・・・。住むところを失い、ホテルの営業もしばらくできないとの事でしかたなく地元である猪名川町に帰つてきました。

それからは同じ料理でも旅館で和食、ゴルフ場では洋食、中華料理などを勉強しました。そしていろいろな経緯を経て今現在「正心会」ハピネス川西でお世話になつています。

これまでの経験で培つた技術を活かして、ご利用者の皆様に喜んでもらえる美味しい料理を作れたらと思います。

